



各 位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
 代表者 代表取締役社長 笠井 千秋
 (コード番号 4242)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 石黒 勝己
 (TEL 0766-24-5522)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月13日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,280	130	△20	△240	△17.83
今回修正予想(B)	25,720	△230	△330	△450	△33.43
増減額(B-A)	440	△360	△310	△210	
増減率(%)	1.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	26,979	350	224	△58	△4.37

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,080	1,440	1,140	470	34.92
今回修正予想(B)	51,950	740	420	60	4.46
増減額(B-A)	△1,130	△700	△720	△410	
増減率(%)	△2.1	△48.6	△63.2	△87.2	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	53,456	458	536	163	12.12

修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、インドネシアの低価格低燃費車優遇策(LCGC)の政府導入遅れにより、同優遇策対象車種の量産開始時期延期にともなう受注数量の減少があるものの、為替の想定を上回る円安等により、売上高は前回発表の25,280百万円を1.7%上回る25,720百万円の見通しとなりました。しかしながら損益面では、インドネシアの減収及び人件費の高騰、また受注価格面での協力要請対応等により、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに前回発表の数値を下回る見通しとなりました。

通期の業績予想につきましても、インドネシアでの自動車部品の受注数量減少の継続及び中国でのパソコン筐体部品の受注数量の減少等が想定されることより、売上高は前回発表の53,080百万円を2.1%下回る51,950百万円となり、損益面でも、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回発表の数値を下回る見通しとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年5月13日発表)	—	1.00	—	2.00	3.00
今回修正予想	—	1.00	—	1.00	2.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	1.00	—	1.00	2.00

修正の理由

当社は、企業価値を高めながら株主の皆様へ利益還元を図ることを経営の最重要課題のひとつと考えており、事業の中長期的な展望のもとに、事業展開と財務体質の強化に努めるとともに、配当につきましても安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。

しかしながら、今回の業績予想の下方修正にともない誠に遺憾ではございますが、平成26年3月期の期末配当予想を1円に修正させていただきます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上